

公益社団法人 日本設計工学会

2025 年度通常総会資料

日時:2025 年5月 24 日(土)

日本大学理工学部 船橋キャンパス

2025年度

公益社団法人日本設計工学会通常総会

2025年5月24日（土）16：10～17：10

議 事

議案

- 一号議案 2024年度事業報告の件
- 二号議案 2024年度決算報告・監査報告の件
- 三号議案 定款改訂の件
- 四号議案 2025・2026年度役員選出の件
- 五号議案 名誉会員推薦の件

報告

- (1) 2025年度事業計画
- (2) 2025年度収支予算
- (3) 2024年度各種表彰

2024年度事業報告

1. 会員異動

	2025年3月31日現在	2024年3月31日現在	増減
名誉会員	27名	29名	-2
正会員	736名	750名	-14
学生会員	421名	389名	32
賛助会員	30名	29名	1
会員総数	1214名	1197名	
賛助企業	12社	11社	1
購読企業	21社	20社	1

2. 2024年度通常総会・支部長理事合同会議

2.1 通常総会

2024年5月18日(土) 16:10～17:15 法政大学小金井キャンパス 東館で開催

2.2 支部長・理事合同会議

2024年5月18日(土) 春季研究発表講演会に合わせて開催(法政大学小金井キャンパス)

2024年9月22日(日) 秋季研究発表講演会に合わせて開催(北見工業大学工学部1号館)

3. 研究調査事業

3.1 設計フォーラム

開催日: 2024年5月18日(土) 10:50～12:30

会場: 法政大学小金井キャンパス東館

題目: 「設計におけるユーザー参加の広がり」

講師: 中小路久美代氏(公立はこだて未来大学), 小林毅氏(マテリアライズジャパン),
太幡英亮氏(名古屋市立大学)

3.2 第37回設計オープンセミナー

「デジタル時代の3D図面とものづくり」-自動車時代の最新動向-

開催日時: 2024年9月4日(水) 17:30～19:50 Zoom オンライン開催

参加者数: 50名

4. 集会事業

4.1 2024年度春季大会研究発表講演会

2024年5月18日(土), 19日(日) 法政大学小金井校舎 東館で開催

講演件数: 48件

参加登録数: 97名

特別講演

講師：原 昌宏 氏(デンソーウェーブ 法政大学 名誉教授)

題目：「社会を変えた QR コードの開発と成長」

4. 1.1 2024年度春季大会研究発表講演会優秀発表賞・学生優秀発表賞

・優秀発表賞 3件

(1)吉田 裕(北見工大)

題目：「透過 X 線解析を用いた Mg合金薄版の弾性塑性遷移域の評価」

(2)川上忠重(法政大学)

題目：「2サイクル対向型ピストンエンジンの失火率および排気特性に関する一考察」

(3)志村穰(拓殖大学)

題目：「単素子ひずみゲージを用いた両開き裂帯板の面外曲げ応力拡大係数解析」

・学生優秀発表賞 3件

(1)大場亮弥(埼玉大学・院) 指導教員：大澤優輔(埼玉大学大学院), 綿貫啓一, 楓和憲(埼玉大学)

題目：「歩容フィードバック訓練システム開発のための敵対的生成ネットワークを用いた目標歩容の生成」

(2)長谷川嵩(早稲田大学・院) 指導教員：宮下朋之(早稲田大学)

題目：「小型衛星に搭載可能な光学レンズの設計」

(3)山口寛太(明治大学・院) 指導教員：加藤恵輔(明治大学)

題目：「体幹傾斜機構と首部多自由度を有したヒューマノイドロボットの開発(頭部・首部・上肢, 体幹機構の設計と首部動作の検討)」

4. 2 2024年度秋季大会研究発表講演会

2024年9月21日(土), 22日(日) 北見工業大学工学部1号館

講演件数:81件

参加登録者:115名

特別講演

講師：東京都立大学客員教授, 国立成育医療研究センター臨床研究医 松野直徒氏

題目：「臓器灌流保存機能再生システムの開発とヒトへの応用」

4. 2.1 2022年度秋季大会研究発表講演会優秀発表賞・学生優秀発表賞

・優秀発表賞 3件

(1)池田圭吾(北海道科学大学)

題目：「磁気浮上システムを用いたアクティブシートサスペンションの開発(鋼板厚さが推力に与える影響)」

(2)印南信男(北海道能力開発大学校)

題目：「積層長方形板における Blended layer の隣接領域間繊維配向角度の影響」

(3)中川一人(日本大学生産工学部)

題目：「加圧噴霧式定量吸入器(pMDI)用スプレーのセパレーターとしての効果」

・学生優秀発表賞 4件

(1)石塚新太(東北大学・院) 指導教員：西本葵, 西駿明, 山口健(東北大学大学院)

題目：「拡大隙間に発生する流体負圧を利用した高摩擦ゴムトレッドに関する研究」

(2)馬場居仲(埼玉大学・院) 指導教員：楓和憲, 永吉成光, 内藤権弥, 綿貫啓一(埼玉大学大学院)

題目:「自動車のペダル操作シミュレータを用いた踏み間違い体験による安全運転に対する能力意識への影響の評価」

(3) 渋川亮裕(法政大学・院) 指導教員:平野利幸(法政大学)

題目:「遠心圧縮機のサージングに関する研究(高速度カメラによる吐出し管出口付近の流れの可視化)」

(4)後藤考平(北見工業大学・院) 指導教員 Abhijeet RAVANKAR(北見工業大学), Ankit RAVANKAR(東北大学)

題目:「画像認識を用いた筋肉の動きによるロボット制御システムの開発」

4.3 講習会・見学会等

4.3.1 設計コンテスト

2024年度の課題「懐中電灯」

入門コース・基本コースの2コースに分けて実施。

(1)研修会

日時:2024年6月8日(土) Zoom によるオンライン開催 参加者17名

(2)発表会

日時:2023年12月2日(土) 入門コース・基本コース共通

入門コース 5チーム参加 基本コース 4チーム参加

(3)コンテスト結果

入門コース

優勝:生野・植山チーム(崇城大学) 準優勝:比留間チーム(ものづくり大学)

基本コース

優勝:岡田・黒木チーム(関東学院大学) 準優勝:梁瀬・菊池チーム(ものづくり大学)

第3位:高橋・飯沼チーム(関東学院大学)

努力賞:甘粕チーム(関東学院大学), 林・伊藤チーム(富山県立大学)

優秀発表賞

梁瀬・菊池チーム(ものづくり大学)

4.3.2 見学会

2024年8月2日(金) 株式会社コガネイモールド(長野県佐久市) 参加者:38名

4.3.3 講習会

- | | | |
|---|----------------|--------|
| (1)形状設計ノウハウ講習会 | 2024年6月28日・29日 | 参加者28名 |
| (2)プラスチック製品開発講習会 | 2024年7月3日 | 参加者6名 |
| (3)デザイン科学基礎講座「感動と創造」 | 2024年7月10日 | 参加者23名 |
| (4)デザイン科学基礎講座【「不確かさ」に対して頑強な設計の知恵～“高度化・多機能化”と“安心”のはざまで、設計に出来ること】 | 2024年6月19日 | 参加者48名 |
| (5)DfAM 講習会 Zoom によるオンライン開催 | 2024年9月11日 | 参加者6名 |
| (6)セットベース設計講習会 Zoom によるオンライン開催 | 2024年11月8日 | 参加者19名 |
| (7)デザイン科学セミナー | 2025年1月10日 | 参加者14名 |

5. 支部活動

5.1 北海道支部

5.1.1 支部総会

2025年3月17日(月)13:30～14:30 Web 会議システム(Zoom)で開催

5.1.2 商議員会

2024年3月15日(土)9:30～10:20 Web 会議システム(Zoom)で開催

第3回幹事会と合同で開催

5.1.3 幹事会

(1) 2024年4月26日(金)14:00～17:00 北見工業大学で開催(兼秋季大会実行委員会)

(2) 2024年12月24日(金)10:00～11:20 Web 会議システム(Zoom)で開催

臨時 2025年1月6日(月)～10日(金) メール審議

(3) 2025年3月15日(土)9:30～10:20 Web 会議システム(Zoom)で開催

5.1.4 事業報告

(1)秋季大会(支部究発表講演会は未開催)

2024年9月21日(土)～22日(日) 北見工業大学他 参加者110名

吉田裕実行委員長, 他実行委員 11 名 発表件数 80 件

(2)特別講演会(秋季大会併催1件)

2024年9月22日(日)13:00～14:00 北見工業大学 C122 講義室 参加者45名

講演:「臓器灌流保存機能再生システムの開発とヒトへの応用」

講師:東京都立大学機械システム工学科客員教授 国立成育医療研究センター臓器移植センター

臨床研究医 松野 直徒 氏

(3)見学会(札幌地区) 今年度も見送り

(4)支部業務執行委員会

第1回 2024年12月6日(金) 17:00～18:10 Web 会議システム(Zoom)で開催

第2回 2025年3月15日(土) 9:00～9:30 Web 会議システム(Zoom)で開催

(5)2024年秋季大会実行委員会

第4回実行委員会 2024年4月26日(金) 14:00～17:00 北見工業大学(兼第1回拡大幹事会)

第5回実行委員会 2024年7月9日(火) 12:30～14:00 Web 会議システム(Zoom)で開催

(6)支部監査

2025年3月12日(水)13:30～14:40 北海道科学大学 F121 室(担当支部監事:大柏哲治, 小野栄治)

5.1.5 会員動向(2024年12月24日現在)

・支部会員数: 名誉会員:3名, シニア会員:1名, 正会員:25名, 学生員:16名 合計:45名

・支部賛助会員:2社(正会員の内数) (㈱北海技研工業, 富士金網製造㈱) 敬称略

5.1.6 その他

・2024年度秋季大会(北見)の開催

・NewsLetter No. 035 の発行

・遠隔形式会議開催の継続

5. 2 東北支部

5. 2. 1 支部総会

2024年5月2日(木)14:30～15:00 Web 会議システム(Zoom)で開催 出席者:32 名(委任状含む)

5. 2. 2 商議員会

2024年5月2日(木)14:00～14:30 Web 会議システム(Zoom)で開催 出席者:18 名(委任状含む)

5. 2. 3 幹事会

(第1回)2024年5月2日(木)15:00～16:00 Web 会議システム(Zoom)で開催 出席者:6 名

(第2回)2024年7月9日(火)18:00～19:00 Web 会議システム(Zoom)で開催 出席者:9 名

(第3回)2024年10月8日(火)18:00～19:00 Web 会議システム(Zoom)で開催 出席者:7 名

(含む記念誌編集委員)

(第4回)2024年12月23日(月)18:00～19:00 Web 会議システム(Zoom)で開催 出席者:9 名

(含む記念誌編集委員)

(第5回)2025年3月31日(月)18:00～19:00 Web 会議システム(Zoom)で開催 出席者:5 名

5. 2. 4 事業報告

(1)HP管理

・FBを用いた支部活動の情報発信, HPのリニューアル, 賛助会員のHPリンク, Google でのメールリストの管理

(2)広報

・学生員増募に関するアンケート調査の実施

(3)支部設立50周年(2025 年度)記念事業

・50 周年記念誌の編纂

・設立 50 周年記念支部研究発表講演会とセレモニーの実施計画

(4)出版関係

・会誌「設計工学」Vol. 60-7月号の特集として、「日本の農業を支える工学的アプローチ(仮)」を企画。
執筆予定者と内容は以下の通り。

(1)解説「さくらんぼの自動収穫ロボットの開発(仮)」

妻木 勇一 氏(山形大学大学院 理工学研究科 機械システム工学専攻 教授)

(2)解説「果樹収穫時期の判別システムの開発(仮)」

石井 雅樹 氏(秋田県立大学 システム科学技術学部 情報工学科 教授)

(3)解説「ロボット技術を活用した獣害対策や圃場監視等のシステムツールによる営農者への支援サービスの提供(仮)」

平山 貴弘 氏(株式会社 日本遮蔽技研 代表取締役副社長)

(4)解説「プラズマの農業への応用(仮)」

金子 俊郎 氏(東北大学大学院 工学研究科 電子工学専攻 教授)

5. 2. 5 共催・後援・協力事業

(1) 名称:第 4 回高校生3D デザイン&3D プリントコンテスト

主催:秋田県立大学 システム科学技術学部 機械工学科

協賛:ソリッドワークスジャパン株式会社

後援:秋田県教育委員会, 日本機械学会東北支部, 日本設計工学会東北支部,

精密工学会東北支部, プラスチック成形加工学会東北・北海道支部,

秋田県高分子材料研究会, 秋田県生産技術研究会, HYper Net Akita,

電動化システム共同研究センター

- (2) 名称: エンドミル加工技術セミナー
主催: (地独) 岩手県工業技術センター
共催: 公益財団法人 釜石・大槌地域産業育成センター
協力: (公社) 日本設計工学会東北支部
日時: 2024 年 10 月 11 日 (金) 13:30~16:00
会場: 公益財団法人 釜石・大槌地域産業育成センター 大会議室
- (3) 名称: 東北・北海道支部 2024 年度見学会「テクノメタル(株)―自動車・建設機械・産業機械用鋳造、鍛造、アルミダイカスト部品の製造―」
主催: 日本塑性加工学会 東北・北海道支部
協力: 精密工学会東北支部, 日本設計工学会東北支部, 日本軽金属学会東北支部
日時: 2024 年 10 月 22 日 (火) 14:30~16:30
会場: テクノメタル株式会社 二本松工場
〒964-8585 福島県二本松市高田 100 番地 電話 0243-23-8100
- (4) 名称: 令和6年度ものづくり DX システム導入支援強化事業 3D プリンタセミナー
主催: (地独) 岩手県工業技術センター
協力: (公社) 日本設計工学会東北支部
日時: 2024 年 10 月 23 日 (水) 13:30~16:15
会場: (地独) 岩手県工業技術センター 小ホール(座学)、1-A 会議室(展示)
- (5) 名称: 令和6年度ものづくりDXシステム導入支援強化事業
「デジタル加工技術セミナー ワイヤ放電加工(第2回)」
主催: (地独) 岩手県工業技術センター
協力: (公社) 日本設計工学会東北支部
日時: 2025 年 2 月 6 日 (木)~7 日 (金) 9:00~16:00
会場: 岩手県工業技術センター 電子機械実験棟 放電加工室 MC 加工室

5. 2. 6 支部地域活動に対する補助事業

- (1) 名称: 第17回秋休み子ども科学キャンパス
主催: 東北大学, 仙台市教育委員会
共催(予定を含む): 日本金属学会東北支部, 表面技術協会東北支部, 電子情報通信学会東北支部, 土木学会東北支部, 日本機械学会東北支部, 自動車技術会東北支部
協賛・後援(予定を含む): 青葉工学会振興会, 建設工学会研究振興会, 東北工学教育協会, 応用物理学会東北支部, 情報処理学会東北支部, 宮城県建設業協会, 日本鉄鋼協会東北支部, 日本橋梁建設協会東北支部, 日本設計工学会東北支部, 電気化学会東北支部, 電気学会東北支部
日時: 令和 6 年 10 月 15, 16 日
会場: 東北大学院工研究科 創造工学センター及びサイエンスキャパホール ほか
参加者数: 仙台市内の小学校の 6 年生 148 名, サポートスタッフ 56 名 計 204 名
仙台市内の小学 6 年生を対象として、大学における研究・教育を活かした実験・体験型の科学教室を開催した。6 つのテーマが用意され、児童は自分の希望するテーマに参加し、大学教員及び学生の指導

の下、実験・体験を行った。

実施後の児童へのアンケートによると、この子ども科学キャンパスを通して「理科をもっと学びたい」と感じた児童は 97～98%に上っており、この子ども科学キャンパスが児童の理科への関心の醸成と勉学意欲の向上に効果があったことが推測される。アンケートの自由記述からは、「この講座を受けて新しいことが知れて興味深かった」「普段自分で当たり前のように使っていたものも理科の力なんだなと思った」「ものづくりの面白さをより知れた」のように科学・技術や工学・ものづくりへの理解が深まったことや、「自分でたくさん考える力が身に付いた」「ここでしか経験できないこともあったので、このことを勉強面でも活かしていきたい」「将来になりたい職業のための 1 歩をふみだせた」のように自身の能力の伸長の機会となり、ひいては将来のキャリアともつながる体験もできた児童がいることがうかがえた。

実施したテーマは次のとおり。

- ・(やわらかな)ロボットからくりを作ってみよう
- ・いろいろな電気で遊んでみよう(強い電気(雷)から弱い電気(心臓の電気)まで)
- ・野菜や花から遺伝子を取り出してみよう
- ・不思議な材料を使って身近な衝撃を電気に変えたり、温度変化で形を変えてみよう!
- ・ロボットと AI で道路の欠陥を見つけよう
- ・自分で作成した 3D データからオリジナル BOX をつくろう

(2) 名称:「2024 World Electric Vehicle Challenge in NATORI」

主催:特定非営利活動法人 次世代モビリティエコラン協会

共催:(公社)日本設計工学会東北支部

日時:令和 6 年 12 月 1 日(日)

会場:宮城県名取市 名取サイクルスポーツセンター

参加者数:約 400 名)

参加チーム:24 チーム

北は青森、西は大阪までの、自動車メーカーなどの技術者チームをはじめ、大学、高専、高校生チーム、合計 24 チームが出走してレースが行われた。寒さ対策として競技時間を 120 分から 90 分としたので、公称 40W でのレースとなり、全車輪まで内包して空気抵抗を低減した葉巻型三輪車両が平均 30km/h ほどの速度で上位を占め、オープンクラス優勝は、チームエンドレスの「リボン Go!」、29 周回(約 46km 走行)。オープン学生クラス優勝は八戸工業大学動力研究部の「ハマチ」で、20 周回。ジュニアクラス優勝は、秋田工業高校の「秋工レーシング FC」、28 周回であった。エコラン競技車両は、これまで CFRP 成型が主流だったが、法政大学機械研究会によるオール 3D プリント造形の車両も出走し、オープン 6 位の好成績を収めた。

(3.) 名称:本荘由利テクノネットワーク 学生パネル発表会

主催:本荘由利テクノネットワーク

協賛:秋田化学工業(株), (株)秋田新電元, 秋田精工(株), 羽後信用金庫, エドモンド・オブティクス・ジャパン(株), Orbray(株), (株)共進, 小林工業(株), 小林テック(株), (株)三栄機械, 三和精鋼(株), JUKI 産機テクノロジー(株), 積進工業(株), TDK(株), 東北電力ネットワーク(株), 日本設計工学会 東北支部, 能代オリエンタルモーター(株), 丸大機工(株), (株)森井, (株)森井製作所, リコー IT ソリューションズ(株)

日時:令和 7 年 2 月 20 日(木) 10:00-18:30

会場：秋田県立大学 本荘キャンパス カフェテリア 2F 及びラーニングコモンズ

ポスター発表数：75 件

設計工学会東北支部賞として 2 件を表彰した

- ・開放端をもつマイクロストリップ線路間の無線接続に関する研究

知能メカトロニクス科 大山 敦史／戸花 照雄・秋元 浩平

- ・配管内流体を利用した気流発電システムの開発と性能評価

知能メカトロニクス学科 澤田 石 拳／岡本 洋

5. 3 東海支部

5. 3. 1 支部総会

2024年5月31日(金) 名城大学天白キャンパス 参加者15名

特別講演 名城大学天白キャンパス 参加者36名

題目：スポーツ分野における設計技術

講師：ミズノ株式会社 グローバル研究 開発部 統括担当 石田和也 氏

5. 3. 2 東海支部研究発表講演会

2025年3月1日(土) 名城大学天白キャンパス

講演論文編数：40 編 参加者 55 名

5. 3. 3 機械製図講習会

2024年6月5日(水), 7日(金), 14日(金) 名城大学天白キャンパス 参加者7名

5. 3. 4 2024年度幾何特性仕様(GPS)講習会 (はじめての ISO GPS, サイズ公差と幾何公差)

2024年8月22日(木), 9月11日(水) 名城大学天白キャンパス 参加者7名

5. 3. 5 2024年度幾何特性仕様(GPS)講習会(実践 ISO GPS, スキルアップ幾何公差)

2024年9月18日(水), 24日(火) 名城大学天白キャンパス 参加者6名

5. 3. 6 設計フォーラム

2024年11月29日(金) 名城大学天白キャンパス 参加者21名

テーマ：東海地区高専における PBL 教育

講演1：マイコンを用いた制作実習とプレゼンテーションのサイクル

岐阜工業高等専門学校 准教授 白木英二 氏

講演2：鈴鹿高専における次世代の人財育成に向けた教育システム

鈴鹿工業高等専門学校 教授 白井達也 氏

講演3：地域資源アップサイクルと鳥羽サーキュラーエコノミーモデル

鳥羽商船高等専門学校 准教授 児玉謙司 氏

講演4：豊田高専機械工学科における PBL 教育

豊田工業高等専門学校 教授 兼重明宏 氏

5. 3. 7 見学会

第92回 2024年7月12日(金) 日本特殊合金株式会社 参加者10名

第93回 2025年2月17日(月) 東海旅客鉄道株式会社 総合技術本部 技術開発部(小牧研究施設)

参加者30名

5. 3. 8 協賛行事

【見学会】

(1)精密工学会東海支部 見学会 (共催:日本機械学会東海支部)

2024年5月17日(金) 株式会社ナベヤ

参加者13名

(2)精密工学会東海支部 見学会・特別講演会 (共催:日本機械学会東海支部)

2024年10月11日(金) 藤巻鋼材株式会社

参加者14名

【講演会】

(1) 精密工学会東海支部講習会

参加者27名

【講義で理解, 実習/実演で納得!】「ものづくり実践講座シリーズ」全7講座

2024年9月2日(月), 9月18日(水), 9月20日(金), 9月24日(火), 9月25日(水), 9月27日(金)

9月30日(月)

(2) 日本機械学会東海支部 第13回機械工学基礎講座「機械設計」

参加者23名

2024年10月22日(火), 23日(水)

(3) 日本機械学会東海支部 第152回講習会

参加者89名

2024年11月22日(金) 「科学英語の書き方とプレゼンテーション」

【役員会】

・商議委員会:2回開催 (2024年5月31日, 2025年1月24日)

・幹事会 :3回開催 (2024年4月5日, 8月2日, 10月18日)

5.4 北陸支部

5.4.1 支部総会・講演会

2024年6月29日(土) 金沢大学 講演件数22件

5.4.2 特別講演会

2024年6月29日(土) 金沢大学

題目:「最適化シミュレーションや深層強化学習を用いたスポーツ動作・用具の設計」

講師:東京工業大学 教授 中島求 氏

5.4.3 講演会・見学会

①第115回 講演会・見学会 2024年10月25日(火) 石川県担当

【講演会】

題目:「静音ベーンポンプの開発」

講師:株式会社東振テクニカル ポンプ部長 森裕之 氏

【見学会】 場所:株式会社東振精機 栗生第二工場

②第116回 講演会・見学会 2024年11月29日(金)~30日(土) 富山県担当

* 日本海トライボロジー研究会 共催

【講演会】 11月29日(金)

特別講演

講師:九州大学 名誉教授 杉村丈一 氏

11月30日(土)

一般講演・話題提供

講師:富山県立大学 宮島敏郎

大同工業株式会社 関秀明 氏

福井高等専門学校 千徳英介 氏

長野高等専門学校 柳澤憲史 氏

【見学会】 11月29日(金) 中越精器株式会社・第2工場

11月30日(土) 富山県立大学研究室

5.4.4 協賛事業 なし

5.4.5 講習会・その他 なし

5.4.6 役員会

① 商議員会 2024年6月29日(土) 金沢大学

② 幹事会 第1回 2024年6月22日(土) ITビジネスプラザ武蔵

第2回 2024年11月30日(土) 近江町ふれあい会館

5.5 関西支部

5.5.1 定時総会

日時:2024年4月6日(土) 13:00~16:00 会場:大阪電気通信大学 ハイブリッド開催

講演会

題目:「製造業の設計・製造へのAI活用」

講師:応用技術株式会社 中谷誠 氏

5.5.2 商議員会(2回)

第174回 2024年4月6日(土) 大阪電気通信大学 ハイブリッド開催

第175回 2025年1月25日(土) Zoom によるオンライン開催開催

5.5.3 幹事会(4回)

第70回 2024年9月14日(土) Zoom によるオンライン開催

第71回 2024年11月30日(土) Zoom によるオンライン開催

第72回 2025年1月25日(土) Zoom によるオンライン開催

第73回 2025年2月22日(土) Zoom によるオンライン開催

5.5.4 事業報告

(1) 第225回 研究会 (第1研究委員会) 研究・イノベーション学会関西支部と共同開催

開催日・会場: 2024年5月23日(木) 大阪電気通信大学 Zoom によるハイブリッド開催

講演1 「我が国における電力用コンデンサの研究イノベーション」

講師: 元福山大学教授 吉田恭信 氏

講演2 「フューチャー・デザインとそのモデルケースアプローチ」

講師: 大阪大学大学院工学研究科 准教授 野間口大 氏

(2) 第226回 研究会 (第1研究委員会) 研究・イノベーション学会関西支部主催の共催

開催日・会場: 2024年6月28日(金) 阪南大学あべのハルカスキャンパス Zoom によるハイブリッド開催

講演1 「アメリカの大統領選挙のゆくえ」

講師: 阪南大学経営学部・大学院企業情報研究科 教授 井上博 氏

講演2 「アニマルスピリッツ〜関西にイノベーションの風を吹かせたい」

講師: うめきた未来イノベーション機構理事長 梅中沢則夫 氏

(3) 第227回 研究会 (第1研究委員会) 研究・イノベーション学会関西支部主催の共催

開催日・会場: 2024年7月25日(木) コミュニティープラザ平野 Zoom によるハイブリッド開催

講演1 「高峰譲吉の多様な貢献」

- 講師：元産業技術総合研究所 主任研究官 本庄孝子 氏
- 講演2「バイオテクノロジーで第5次産業革命を～バイオ技術の社会実装に向けての挑戦」
- 講師：マイクロバイオフィクトリー株式会社 代表取締役社長 清水雅士 氏
- (4)第228回 研究会（第2研究委員会）日本技術士会近畿本部除法工学部会10月定例会
- 開催日・会場：2024年10月12日（土）阪南大学あべのハルカスキャンパス Zoom によるハイブリッド開催
- 講演1「魔改造の夜 話せる範囲の裏話」
- 講師：パナソニックプロダクションエンジニアリング株式会社 巢之内聡裕 氏
- 講演2「『設計』について語り合うワークショップ」
- 講師：技術士（機械部門）生浦浩子 氏（第2研究会委員長）
- (5)第229回 研究会（第1研究委員会）研究・イノベーション学会関西支部主催の共催
- 開催日・会場：2024年10月22日（火）阪南大学あべのハルカスキャンパス Zoom によるハイブリッド開催
- 講演1「西成の歴史－西成わが町－」
- 講師：元経済産業省近畿経済産業局産業部長 上村良次 氏
- 講演2「新今宮から大阪を、日本を変える」
- 講師：阪南大学 国際学部長 松村嘉久 氏
- (6)第230回 研究会（第1研究委員会）研究・イノベーション学会関西支部主催の共催
- 開催日・会場：2024年11月22日（火）コミュニティプラザ平野 Zoom によるハイブリッド開催
- 講演1「2050年鉄鋼ゼロカーボンへのPathway 戦略の選択」
- 講師：東北大学 名誉教授 有山達郎 氏
- 講演2「カーボンサイクル技術『高収率CO₂→CO変換技術』の鉄鋼産業ならびに化学産業への活用」
- 講師：積水化学工業株式会社 R&Dセンター 先進技術研究所 グリーンケミストリープロジェクト
プロジェクトヘッド 中間友樹 氏
- 講演3「SOECメタネーション技術によるe-メタンが切り拓く暮らしや産業のカーボンニュートラル化」
- 講師：大阪ガス株式会社 エグゼクティブフェロー 大西久男 氏
- (7)第231回 研究会（第1研究委員会）研究・イノベーション学会関西支部主催の共催
- 開催日・会場：2024年12月7日（土）大阪電気通信大学 Zoom によるハイブリッド開催
- 講演1「日本におけるイノベーション創出とボトルネックとその解消に向けた指針」
- 講師：政策研究大学院大学 教授 隅藏康一 氏
- 講演2「レッドオーシャン市場における中小・零細企業のブランド価値創造戦略について」
- 講師：阪南大学 学長 平山弘 氏
- (8)第232回 研究会（第1研究委員会）研究・イノベーション学会関西支部主催の共催
- 開催日・会場：2025年1月20日（月）コミュニティプラザ平野 Zoom によるハイブリッド開催
- 講演1「大阪・関西万博と関西経済」
- 講師：経済産業省近畿経済産業局 産業部長 鈴木貴詞 氏
- 講演2「ボイラーを通じて社会に貢献するソリューションメーカーを目指して」
- 講師：株式会社ヒラカワ 代表取締役会長 平川晋一 氏
- (9)第233回 研究会（第1研究委員会）研究・イノベーション学会関西支部主催の共催
- 開催日・会場：2025年3月11日（火）阪南大学あべのハルカスキャンパス Zoom によるハイブリッド開催
- 講演1「自然エネルギー利用のための二次電池と材料」

講師：大阪電気通信大学工学部 基礎理工学科環境化学専攻 教授 川口雅之 氏
講演2「中国経済不況は日本化になるか？対策と消費マインドを中心に」

講師：阪南大学大学院 企業情報研究科 教授 洪詩鴻 氏

(10) 見学会

開催日・会場 2025年2月18日(火) 大阪大学箕面船場図書館2F・船場図書館生涯学習センター

神戸市立アイセンター 2023年5月19日(金)

(11) 2024年度研究発表講演会

特別講演会 2023年3月1日(土) 大阪産業大学 Zoom によるハイブリッド開催

講演題目「AI・ロボットと人の共存によるストレスフリー社会の構築で、地域を、日本を、世界を救う！」

講師：株式会社 HCI 代表取締役社長 奥山浩司 氏

(12) その他(協賛・後援)

- ・ 日本機械学会関西支部第25回秋季技術フォーラムの協賛
- ・ モビリティ用途コンボジットシンポジウム2024の協賛
- ・ 第28回西日本技術士研究・業績発表年次大会の後援

5.6 中国支部

5.6.1 定時総会

2024年6月1日(土) 広島工業大学広島校舎 出席者:12名(委任状21通)

5.6.2 商議員会

2024年6月1日(土) 広島工業大学広島校舎 出席者:11名(幹事会と合同)

5.6.3 幹事会

第1回 2024年6月1日(土) 広島工業大学広島校舎 出席者:11名

第2回 2024年11月23日(土) 広島工業大学広島校舎 出席者:9名

5.6.4 事業報告

(1)特別講演会 2024年6月1日(土) 広島工業大学広島校舎 参加者20名

題目:「機械の自動化に関する一考察ー農業機械と自動車の研究を通してー」

講師:近畿大学 工学部 機械工学科 教授 樹野 淳也 氏

(2)第40回研究発表講演会 2024年6月1日(土) 広島工業大学広島校舎 出席者29名

発表件数12件(○印=発表者)

① ディープラーニングによる溶接技能者資格認証試験片の多項目分類

呉高専 ○平石輝斗, 上寺哲也

② 地下空間におけるステレオカメラを用いた三次元計測手法

呉高専 ○伊藤礼央登, 上寺哲也

③ マルチパススケジューリングルールの学習法

広島大 ○山井智貴, 江口 透, 村山 長

④ 空気圧人工筋肉を用いた義手の効率的な指の動かし方

呉高専 ○中川颯太, 山田祐士, 野村高広, 尾川 茂,

美作大 則次俊郎

⑤ 湾曲型人工筋肉を用いたパワーアシスト機器の開発

呉高専 ○濱野友希, 山田祐士, 野村高広, 尾川 茂,

美作大 則次俊郎

- ⑥ 超音波による多孔質焼結含油軸受の油膜厚さ測定
(対向2方向測定による測定精度向上の検討)

米子高専 ○吉江晃汰, 矢壁正樹

- ⑦ フィルタードアーキ蒸着法で歯車に成膜した DLC の耐はく離性

岡山大 ○墨川 優,

日本アイ・ティ・エフ 大城竹彦, 藤井慎也,

岡山大 塩田 忠, 藤井正浩

- ⑧ 母材密度の異なる表面転造焼結金属平歯車の曲げ疲労強度

鳥取大 ○副田 舜, 山本竜士,

神戸製鋼所 谷口祐司,

鳥取大学 西 遼佑, 小野勇一, 小出隆夫

- ⑨ 無段階角度調整機構に用いるキネティック歯車機構

デルタツーリング ○黒本昌宏, 竹中一弘, 福田 順, 小倉由美, 藤田悦則

- ⑩ グラファイト保護層を用いたレーザピーニングの表面性状

岡山大 ○真鍋泰史, 藤井正浩, 塩田 忠

- ⑪カオス解析を用いた循環動態指標の検討

デルタツーリング ○延廣良香, 内川竜一, 前田慎一郎, 小倉由美,

福井県済生会病院 五十嵐茂幸, 前野孝治,

デルタツーリング 藤田悦則

- ⑫ 誘導加熱を用いたトーションバーの熱処理条件と支持法に関する実験的研究

デルタ工業 ○吉田誠也,

デルタツーリング 増野将大, 巻田聡一, 平本裕太,

デルタ工業 桑田勝義, 元家達也, 牛尾暢宏,

デルタツーリング 小倉由美,

デルタ工業 藤田悦則,

デルタツーリング 李木経孝

(3) 第84回見学会 2024年12月2日(月) 広島工業大学広島校舎 参加者17名

ダイキョーニシカワ株式会社本社工場(広島県東広島市寺塚産業団地 5-1)

(4) 中国支部設立50周年記念式典 2024年11月23日(土) 広島工業大学広島校舎 参加者16名

①記念式典 参加者16名

開式の辞

式辞 中国支部長 関口 泰久 氏

祝辞 日本設計工学会会長 岩附 信行 氏

閉式の辞

②記念講演 参加者16名

「設計を学ぶということ」

日本設計工学会会長 岩附 信行 氏

「設計知は、本当に役に立っているのか? ～設計研究の課題と展望～」

慶應義塾大学 名誉教授 松岡 由幸 氏

③記念祝賀会 参加者10名

④記念誌発行 日本設計工学会中国支部 50 周年記念 50 年の歩み

5. 7 四国支部

5.7.1 支部総会

2025年3月13日(木) 12:00～13:00 (Zoomによるオンライン開催)

5.7.2 研究発表講演会ならびに技術交流会

(1)特別講演会 2025年3月13日(木) 13:10～13:55 (Zoomによるオンライン開催)

題目:「日本産業規格(JIS)の開発について」

JISの概要を示すとともに、昨今の工業標準化改正のねらいや背景、国際規格とISOの関係について解説する。また、産業標準予備原案(PD)制度および機械分野におけるJISの利活用事例を紹介する。

講師:一般財団法人 日本規格協会 産業系規格開発ユニット 土木・建築・機械系規格チーム

佐々木 千晶 様

(2)研究発表講演会 2025年3月13日(木) 14:00～16:10 (Zoomによるオンライン開催)

論文集:参加者、講演者への期間限定ダウンロード形式(製本しない)

(3)技術交流会 中止

5.7.3 見学会

日時:2024年12月8日(金)13:30～15:30

見学先:丸井産業株式会社 〒779-1123 徳島県阿南市那賀川町手島榎瀬 42

5.7.4 役員会

(1)第一回幹事会

日時: 2024年5月19日(日)～31日(金) (メール審議)

議題: 異動・退会に伴う2024年度支部役員の交代について

(2)第二回幹事会

日時: 2025年2月13日(木)～18日(火) (メール審議)

議題: 2025年度 支部事業計画書及び収支予算書について

5.8 九州支部

5.8.1 第57回通常支部総会

2024年6月1日(土) 13:00～13:30 九州大学大橋キャンパス(福岡市南区) 参加者16名(委任状37通)

5.8.2 特別講演会

2024年6月1日(土) 14:00～15:00 九州大学大橋キャンパス 参加者18名

題目:「船舶の静粛化設計について～大型客船から海洋研究船まで～」

講師:長崎総合科学大学 本田 巖 氏

5.8.3 研究発表講演会

2024年6月1日(土) 15:10～16:50 九州大学大橋キャンパス 参加者18名

講演プログラム

1. 電機・電子製品のための脱炭素化設計の提案

戸水 晴夫(SDI Japan)

2. リスクベース設計の基礎となる行動特性の測定

堀田 源治(九工大), 宗澤 良臣(広島工大), 桐山 聡(鳥取大), 石川 洋平(有明高専)

堀田 孝之, 坂本 英俊(元同志社大)

3. 聴覚障害者の工作機械操作における支援技術

竹田 雄祐(崇城大)

4. 機巧図彙を題材とした STEAM 教材の開発

渡邊 悠太(久留米高専), 常木 佳奈

5. 8. 4 技術懇談会

2024年6月1日(土)17:00~19:00 月まる海大橋支店 参加者11名

5. 8. 5 見学会

2024年9月13日(土) 15:00~17:00 会場 福岡工業技術センター機械電子研究所 参加者8名

5. 8. 6 共催事業

3D-CAD関連講座 主催:久留米工業高等専門学校

・3D-CAD基礎講座

2024年8月29日(木)~30日(金) 10:00~16:00 久留米工業高等専門学校 参加者14名

・3D-CAD/CAE(材料力学)講座

2024年12月3日(火) 10:00~16:00 久留米工業高等専門学校 参加者7名

・3D-CAD/CAE(熱流体)講座

2024年12月4日(水) 10:00~16:00 久留米工業高等専門学校 参加者2名

5. 8. 7 役員会

(1)商議員会 1回 2024年6月1日 九州大学大橋キャンパス 参加者13名

(2)幹事会 3回 2024年6月1日 九州大学大橋キャンパス 参加者9名

2024年6月1日 折尾まちづくり記念館 参加者6名

2024年6月1日 長崎大学 参加者7名・他一ル会議

5. 8. 8 その他

(1) 2025年度秋季大会準備

・第1回実行委員会の開催 2024年11月30日(土)14:30~17:00 長崎大学 参加者11名

・予定会場の視察 2024年12月19日(木)13:00~16:00 出島メッセ 参加者6名

(本部2名, 支部4名)

6. 出版事業

6. 1 会誌「設計工学」12号の発行

特集記事のタイトルは以下の通り.

第59巻4号 マルチコプタの活用と支援する装置の設計

第59巻5号 設計における自然言語処理技術の活用<1>

第59巻6号 設計における自然言語処理技術の活用<2>

第59巻7号 可視化技術と非破壊検査

第59巻8号 春季/秋季大会研究発表講演会優秀講演論文

第59巻9号 STEM/STEAM 教育の現状と事例

第59巻10号 地域と連携した研究事例

第59巻11号 設計と材料の新しい関係

第59巻12号 積層造形により実現する高機能構造体

第60巻1号 学生向けコンテストを通じた設計教育

第60巻2号 モビリティの創造と設計その1

第60巻3号 モビリティの創造と設計その2

6.2 2024年度論文賞・奨励賞・MIR賞

6.2.1 論文賞

本年度は該当無し

6.2.2 奨励賞 2件

著者:喜井大誠氏(非会員:大阪大学大学院)

題目:「機能性と意匠性を兼備するトレッドパターンに向けたデータ駆動型最適化計算による設計法」

第59巻10号

著者:久保田竜太氏(正会員:職業能力開発大学校)

題目:「放電加工による穴内面への細穴創成」

第59巻12号

6.2.3 MIR賞 4件

著者:園田計二氏(ハッピーサイエンスユニバーシティ), 竹之内和樹氏(九州大学大学院)

解説:「歯車にまつわる温故知新(時代と共に進化続ける歯車の設計・加工・性能向上技術)」

第59巻2号

著者:松尾卓摩氏(明治大学理工学部)

解説:「ドローンによるインフラ設備の非接触 AE 計測のための高感度空中伝搬 AE センサの設計」

第59巻4号

著者:長谷亜蘭氏(埼玉工業大学工学部)

解説:「In situ 観察・AE センシングを駆使したトライボロジー現象の解析技術」

第59巻7号

著者:水谷正義氏(東北大学大学院)

解説:「金属積層造形による傾斜多孔質構造体の創成(根状多孔質構造体(RPS:Rhizoid Porous Structure)の提案とその応用)」

第59巻12号

6.2.4 特集企画賞(今年度より新設) 1件

企画者:杣谷啓氏(大同大学工学部)

タイトル:「積層造形により実現する高機能構造体

第59巻12月号

7. 表彰事業

7.1 2024年度 武藤栄次賞優秀設計賞 3件

設計者:綿貫啓一氏(会員:埼玉大学), 富田保士氏(非会員:バンガードシステムズ)

タイトル:「AI 軸力推定機能付微小ねじ締付用電動ドライバの開発」

設計者:酒井忍氏(会員:公立小松大学), 酒井祐一氏(会員:西野製作所), 池田海都氏(非会員:公立小松大学
院)

タイトル:「四ローラ式発射機構を用いた投球機の開発」

設計者:吉氷弘樹氏, 星悠大氏, 山下剛氏, 中野大入氏, 田村斗唯氏, 天野啓介氏, 西百合恵氏
(会員:株式会社アブリカ)

タイトル:「自動箱包み装置」

7.2 2024年度武藤栄次賞優秀学生賞 142名に贈賞

(学部卒業生:69名, 大学院修士課程修了生:61名, 高等専門学校卒業生:12名)

7.3 2024年度 武藤栄次賞 VP 賞 1件

著者:関口相三氏, 平野重雄氏(株式会社アルトナー)

出版物:「3D でみるメカニズム図典-見てわかる, 機械を動かす(しくみ)-」 オーム社

7.4 2024年度 功労賞 1名

山際康之氏(東京造形大学)

7.5 2024年度 貢献賞 3名

野口昭治氏(東京理科大学), 小野栄治氏(富士屋鉄工株式会社), 高見征二氏(元武藤工業株式会社)

2024年度収支計算書
2024年4月1日～2025年3月31日

公益社団法人 日本設計工学会

科 目	予定	実績	前年	予定比	前年比	備 考
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
特定資産運用益	6,300,000	7,060,688	6,652,162	112.1%	106.1%	
会費・入会金収入	9,217,000	8,557,412	9,323,400	92.8%	91.8%	
研究調査事業	0	0	72,000	-	0.0%	
集会事業	5,946,500	6,465,540	4,271,000	108.7%	151.4%	
出版事業	4,340,000	3,683,000	3,518,000	84.9%	104.7%	
周年事業	0	0	0	-	#DIV/0!	
雑収入	265,030	947,647	507,204	357.6%	186.8%	
経常収益計	26,068,530	26,714,287	24,343,766	102.5%	109.7%	
(2) 経常費用						
事業費						
研究調査事業	775,000	27,760	192,620	3.6%	-	
集会事業	5,586,177	5,350,029	3,700,914	95.8%	144.6%	
出版事業	6,090,000	8,144,964	7,875,169	133.7%	103.4%	
表彰事業	650,000	852,578	789,365	131.2%	108.0%	
周年事業	0	0	0	-	-	
事業費計	13,101,177	14,375,331	12,558,068	109.7%	114.5%	
管理費						
給与等	2,608,000	2,482,000	2,452,000	95.2%	101.2%	
会議費	469,000	460,428	473,554	98.2%	97.2%	
旅費交通費	1,025,000	1,027,718	800,670	100.3%	128.4%	
通信運搬費	830,000	733,454	657,604	88.4%	111.5%	
消耗品費	355,400	312,735	164,159	88.0%	190.5%	
印刷製本費	130,000	192,385	88,748	148.0%	216.8%	
賃借料	2,618,700	2,467,110	2,744,410	94.2%	89.9%	
雑費	973,208	1,437,360	1,608,081	147.7%	89.4%	
光熱費	120,000	110,251	103,294	91.9%	106.7%	
修繕費/他	55,000	54,560	44,550	99.2%	122.5%	
消耗什器備品費	0	7,480		-	-	
法定福利費	120,000	119,760	80,000	-	-	
管理費計	9,304,308	9,405,241	9,217,070	101.1%	102.0%	
その他		100,000	0			
経常費用計	22,405,485	23,880,572	21,775,138	106.6%	109.7%	
当期経常増減額	3,663,045	2,833,715	2,568,628	77.4%	110.3%	
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益	0	0	0	—	—	
(2) 経常外費用						
経常外費用	0	0	0	—	—	
当期経常外増減額	0	0	0	—	—	
当期一般正味財産増減額	3,663,045	2,833,715	2,568,628	77.4%	110.3%	
一般正味財産期首残高	13,176,271	13,164,410	10,595,782	99.9%	124.2%	
一般正味財産期末残高	16,839,316	12,065,769	13,164,410	71.7%	91.7%	
II 指定正味財産増減の部						
当期指定正味財産増減額	0	45,753,886	38,784,834	—	—	
指定正味財産期首残高	270,409,508	335,825,062	297,040,228	124.2%	113.1%	
指定正味財産期末残高	278,723,646	381,578,948	335,825,062	136.9%	113.6%	
III 正味財産期末残高	295,562,962	393,644,717	348,989,472	133.2%	112.8%	

正味財産主な増要因

- *MUTOH株式評価額 +41,651,496 (但し変動)
- *各種講習会収益 +2,194,540 (対前年増)
- *特定資産運用益 +408,526(配当増)
- *消費税還付 +403,044(インボイス効果)

2024年度収支計算書内訳表

2024年4月1日～2025年3月31日

公益社団法人 日本設計工学会

1 一般正味財産増減の部

1. 収入の部

単位:円

科 目	公益事業						法人会計	合計	
	公益1			公益2	公益3	共通			小計
	研究調査	集会事業	支部事業	出版事業	表彰・周年				
1. 特定資産運用益	0	0	0	0	1,271,000	1,906,300	3,177,300	3,883,388	7,060,688
2. 会費・入会金収入	0	0	1,908,316	1,830,000	0	1,494,596	5,232,912	3,324,500	8,557,412
3. 研究調査事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4. 集会事業	0	4,740,940	1,724,600	0	0	0	6,465,540	0	6,465,540
5. 出版事業	0	0	0	3,683,000	0	0	3,683,000	0	3,683,000
6. 周年事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7. 寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
8. 雑収入	0	0	149,815	0	0	322,832	472,647	475,000	947,647
当期収入小計	0	4,740,940	3,782,731	5,513,000	1,271,000	3,723,728	19,031,399	7,682,888	26,714,287
当期収入合計	8,523,671			5,513,000	1,271,000	3,723,728	19,031,399	7,682,888	26,714,287

2. 支出の部

科 目	公益事業							法人会計	合計
	公益1			公益2	公益3	共通	小計		
	研究調査	集会事業	支部事業	出版事業	表彰・周年				
1. 事業費									
1.1 研究調査事業		0	27,760	0	0	0	27,760	0	27,760
1.2 集会事業	0	2,678,981	2,671,048	0	0	0	5,350,029	0	5,350,029
1.3 出版事業	0	0	0	8,144,964	0	0	8,144,964	0	8,144,964
1.4 表彰	0	0	0	0	852,578	0	852,578	0	852,578
1.5 周年事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事業費小計	0	2,678,981	2,698,808	8,144,964	852,578	0	14,375,331	0	14,375,331
事業費合計	5,377,789			8,144,964	852,578	0	14,375,331	0	14,375,331
2. 管理費									
2.1 給与等	0	0	108,000	0	0	1,660,000	1,768,000	714,000	2,482,000
2.2 会議費	87,535	24,780	161,286	58,500	0	0	332,101	128,327	460,428
2.3 旅費交通費	0	81,220	412,070	24,380	0	0	517,670	510,048	1,027,718
2.4 通信運搬費	0	0	84,284	0		0	84,284	649,170	733,454
2.5 消耗品費	0	0	85,652	0	0	0	85,652	227,083	312,735
2.6 印刷製本費	0	0	96,800	0	0	0	96,800	95,585	192,385
2.7 賃借料	0	0	47,220	0	0	1,210,000	1,257,220	1,209,890	2,467,110
2.8 雑費	0	172,190	506,143	11,000		0	689,333	748,027	1,437,360
2.9 光熱費	0	0	0	0	0	0	0	110,251	110,251
2.10 修繕費	0	0	0	0	0	0	0	54,560	54,560
2.11 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	7,480	7,480
2.12 法定福利費	0		0	0	0	0	0	119,760	119,760
管理費小計	87,535	278,190	1,501,455	93,880	0	2,870,000	4,831,060	4,574,181	9,405,241
管理費合計	1,867,180			93,880	0	2,870,000	4,831,060	4,574,181	9,405,241
3. その他	0	0	100,000	0		0	100,000	0	100,000
当期支出小計	87,535	2,957,171	4,300,263	8,238,844	852,578	2,870,000	19,306,391	4,574,181	23,880,572
当期支出合計	7,344,969			8,238,844	852,578	2,870,000	19,306,391	4,574,181	23,880,572
3. 収支差額									
当期収支差額小計	-87,535	1,783,769	-517,532	-2,725,844	418,422	853,728	-274,992	3,108,707	2,833,715
当期収支差額合計	1,178,702			-2,725,844	418,422	853,728	-274,992	3,108,707	2,833,715

2024年度正味財産増減計算書

2024年4月1日～2025年3月31日

公益社団法人 日本設計工学会

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	7,060,688	6,652,162	408,526	
会費・入会金収入	8,557,412	9,323,400	-765,988	
研究調査事業	0	72,000	-72,000	
集会事業	6,465,540	4,271,000	2,194,540	
出版事業	3,683,000	3,518,000	165,000	
周年事業	0	0	0	
雑収入	947,647	507,204	440,443	
経常収益計	26,714,287	24,343,766	2,370,521	
(2) 経常費用				
事業費				
研究調査事業	27,760	192,620	-164,860	
集会事業	5,350,029	3,700,914	1,649,115	
出版事業	8,144,964	7,875,169	269,795	
表彰事業	852,578	789,365	63,213	
周年事業	0	0	0	
事業費計	14,375,331	12,558,068	1,817,263	
管理費				
給与等	2,482,000	2,452,000	30,000	
会議費	460,428	473,554	-13,126	
旅費交通費	1,027,718	800,670	227,048	
通信運搬費	733,454	657,604	75,850	
消耗品費	312,735	164,159	148,576	
印刷製本費	192,385	88,748	103,637	
賃借料	2,467,110	2,744,410	-277,300	
雑費	1,437,360	1,608,081	-170,721	
光熱費	110,251	103,294	6,957	
修繕費	54,560	44,550	10,010	
消耗什器備品	7,480	0	7,480	
その他	100,000	0	100,000	
法定福利費	119,760	80,000		
管理費計	9,505,241	9,217,070	288,171	
経常費用計	23,880,572	21,775,138	2,105,434	
当期経常増減額	2,833,715	2,568,628	-2,656,315	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	2,833,715	2,568,628	265,087	
一般正味財産期首残高	13,164,410	10,595,782	2,568,628	
一般正味財産期末残高	12,065,769	13,164,410	-1,098,641	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	45,753,886	38,784,834	6,969,052	
指定正味財産期首残高	335,825,062	297,040,228	38,784,834	
指定正味財産期末残高	381,578,948	335,825,062	45,753,886	
III 正味財産期末残高	393,644,717	348,989,472	44,655,245	

注1

指定正味財産	当年度	前年度	増減	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
支部記念事業積立金	4,452,488	4,350,098	102,390	利息:2,390円

2024年度貸借対照表

2025年3月31日現在

公益社団法人 日本設計工学会

I 資産の部

単位:円

科 目	当年度	前年度	増 減
1. 流動資産			
現金預金	14,419,172	14,961,456	-542,284
流動資産合計	14,419,172	14,961,456	-542,284
2. 固定資産			
2.1 特定資産	381,578,948	335,825,062	45,753,886
周年記念事業	29,452,488	25,350,098	4,102,390
武藤栄次賞表彰事業	352,126,460	310,474,964	41,651,496
2.2 その他固定資産	2,454,440	2,454,440	0
敷 金	378,000	378,000	0
電話加入権	76,440	76,440	0
退職準備金	2,000,000	2,000,000	0
固定資産合計	384,033,388	338,279,502	45,753,886
資産の部合計	398,452,560	353,240,958	45,211,602

II 負債の部

科 目			
流動負債			
前受金 2025年度年会費 正会員216名(シニア含む)他	3,307,200	3,016,400	290,800
未払金 会誌「設計工学」第60巻3号印刷費 他	1,500,643	1,235,086	265,557
流動負債合計	4,807,843	4,251,486	556,357
負債の部合計	4,807,843	4,251,486	556,357

III 正味財産の部

科 目			
1. 指定正味財産			
周年記念事業	29,452,488	25,350,098	4,102,390
武藤栄次賞表彰事業	352,126,460	310,474,964	41,651,496
指定正味財産合計	381,578,948	335,825,062	45,753,886
2. 一般正味財産			
一般正味財産合計	12,065,769	13,164,410	-1,098,641
正味財産の部合計	393,644,717	348,989,472	44,655,245

負債及び正味財産合計	398,452,560	353,240,958	45,211,602
------------	-------------	-------------	------------

2024年度財産目録

2025年3月31日現在

公益社団法人 日本設計工学会

単位:円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	備考
流動資産					
	現金	手元保管	運転資金	55,489	
	預金			7,692,818	
		普通預金 みずほ銀行世田谷支店	運転資金	5,723,972	
		普通預金 みずほ銀行高田馬場支店	運転資金	682,275	
		普通預金 三菱UFJ銀行高田馬場支店	運転資金	1,015,752	
		普通預金 横浜銀行新宿支店	運転資金	270,819	
	支部預金並びに手許現金	全国8支部	運転資金	6,471,441	注1
	郵便振替口座	ゆうちょ銀行	運転資金	199,424	
流動資産合計				14,419,172	
固定資産					
特定資産				381,578,948	
	周年記念事業			29,452,488	
		定期預金 三菱UFJ銀行高田馬場支店	周年記念事業等	10,000,000	
		定期預金 みずほ銀行世田谷支店	周年記念事業等	15,000,000	
		普通預金 みずほ銀行高田馬場支店	支部積立金	4,452,488	
	武藤栄次賞表彰事業			352,126,460	
		定期預金 横浜銀行新宿支店	表彰事業資金	20,000,000	
		定期預金 みずほ銀行高田馬場支店	表彰事業資金	11,000,000	
		有価証券 第138回利付国債	表彰事業資金	125,800,000	注2
		野村證券㈱本店 法人営業部			
		有価証券MUTOHホールディングス株式	表彰事業資金	195,326,460	注3
		SMBC日興証券(株)公益法人営業部			
退職準備金		定期預金 みずほ銀行高田馬場支店	1年満期更新	2,000,000	
その他固定資産				454,440	
	敷金	(公社)日本セラミックス協会との賃貸契約		378,000	
	電話加入権	NTT		76,440	
固定資産合計				384,033,388	
資産合計				398,452,560	
流動負債					
	前受金	2025年度年会費 正会員216名分(シニア含む)他		3,307,200	
	未払金	会誌「設計工学」第60巻3号印刷費 他		1,500,643	
流動負債合計				4,807,843	
負債合計				4,807,843	
正味財産				393,644,717	

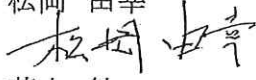
注:

- 支部預金:北海道,東北,東海,北陸,関西,中国,四国,九州8支部の運営費
- 評価金額:138,898,925円 償還日2032年6月20日 利率:1.5% 元金125,800,000
- 株式数量:68,058株 単位当たり時価:2,870円 評価時価195,326,460 (2025/3/31現在)

監査報告書

公益社団法人 日本設計工学会
会長 岩附 信行 殿

2025 年 4 月 30 日
公益社団法人 日本設計工学会

監事 松岡 由幸
署名  
監事 荒木 勉
署名  

私たちは、2024 年 4 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの 2024 年度会計年度における会計及び業務の監査を行い、次のとおり報告する。

1. 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類等の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて計算書類の正確性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録は、会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支及び財産の状況を正しく示していると認める。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認める。
- (3) 理事の職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないと認める。

以上

公益社団法人 日本設計工学会定款 (改訂 2025. 05. 24)

第1章 総 則

(名 称)

第1条 この法人は、公益社団法人 日本設計工学会 (以下「本会」という) と称する。

2 本会の英文名は、Japan Society for Design Engineering と称し、略称は JSDE とする。

(事務局)

第2条 本会は、主たる事務所を東京都新宿区に置く。

(支 部)

第3条 本会は、理事会の議決を経て、必要の地に支部を置くことができる。

第2章 目的及び事業

(目 的)

第4条 本会は、設計工学に関する研究調査の促進・向上、知識の交換及びその教育の振興・体系化並びに会員相互間及び関連学協会との連絡・提携を図り、もってわが国の学術・技術の発展に寄与することを目的とする。

(事 業)

第5条 本会は前条の目的を達成するため、次の公益目的事業を行う。

- (1) 設計工学及びその教育に関する研究調査
- (2) 研究発表会、研究会、講演会、講習会、見学会等の開催
- (3) 学会誌、学術図書及び資料の刊行
- (4) 学術に関する表彰、奨励及び助成
- (5) 内外関連学協会との連絡及び協力
- (6) その他前条の目的を達成するために必要な事業

2 本会は本邦ならびに海外で事業を行う。

第3章 会 員

(会員の種類)

第6条 本会の会員は、次のとおりとする。

- (1) 正 会 員 本会の目的に賛同して入会した個人
- (2) 賛助会員 本会の目的に賛同し、その事業を積極的に援助する団体を代表する個人
- (3) 名誉会員 本会对し、特に功労のあった者のうちから、総会の議決をもって推薦された個人
- (4) 学 生 員 本会の目的に賛同して入会した教育機関に在籍中の学生または生徒

2 前項の正会員及び賛助会員をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する社員とする。

(入 会)

第7条 会員として入会しようとする個人又は団体は、総会で定めた入会金及び会費を添えて入会申込書を提出し、理事会の承認を得なければならない。

2 名誉会員に推薦された者は、入会の手続きを要せず、本人の承諾をもって名誉会員となるものとする。

3 学生員が所属教育機関から卒業、修了あるいは中途退学した後、正会員となることを希望する場合は、入会の手続きを要せず、本人の承諾をもって正会員となるものとする。

(入会金及び会費)

第8条 本会の入会金及び会費は、別に定める。

2 名誉会員は、入会金及び会費を納めることを要しない。

3 会員は、会費を所定の期日までに納入しなければならない。

4 既納の入会金及び会費は、いかなる理由があっても返還しない。

(会員の権利)

第9条 会員は、本会が刊行する学会誌の配布を受けるほか、本会の行う全ての事業に参加する資格を有する。

2 正会員及び賛助会員は、この定款及び別に定めるところにより、役員の選挙権及び被選挙権を有する。

(任意退会)

第10条 会員は、理事会において定める退会届を提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除 名)

第11条 会員が次の各号の一に該当するときは、総会の議決により、これを除名することができる。ただし、総会は、議決の前に弁明する機会を与えなければならない。

- (1) 会費を1年以上滞納したとき
- (2) 会員としての義務に違反したとき
- (3) 本会の定款に違反したとき
- (4) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に違反する行為があったとき

2 会長は、会員を除名したときは、除名した会員に対し、総会の開催1週間前までに理由を付してその旨を通知しなければならない。

(会員の資格喪失)

第12条 会員は、10条、11条のほか次の事由によって、その資格を喪失する。

- (1) 退 会
- (2) 後見開始若しくは保佐開始の審判を受けたとき又は破産手続きの開始の決定がなされたとき
- (3) 死亡若しくは失跡宣告又は賛助会員である団体の解散
- (4) 除 名

第4章 役員及び職員

(役 員)

第13条 本会には、次の役員を置く。

- (1) 理 事 15名以上20名以内 15名以上30名以内
- (2) 監 事 2名 2名以上3名以内

2 理事のうち1名を会長とし、3名を副会長とする。

3 前項の会長をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する代表理事とし、副会長のうち会長が指名する1名をもって同法律第91条1項に規定する業務執行理事とする。

4 理事のうち1名を外部理事、監事のうち1名を外部監事とする。外部理事は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条1項15号、外部監事は公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律第5条1項16号に準拠するものとする。

(役員の選任)

第14条 役員は、総会で正会員の中から選任し、会長及び副会長は、理事会の互選による。

2 監事は、他の役員を兼ねることができない。

(理事の職務)

第15条 理事は理事会を構成し、法令及びこの定款の定める

ところにより、総会の権限に属する事項以外の事項を議決し、職務を執行する。

- 2 会長は、本会の業務を総理し、本会を代表する。
- 3 代表理事及び業務執行理事は、本会の業務を代表して執行し、3箇月に1回以上、自己の職務の執行の状況を理事会に報告しなければならない。
- 4 業務執行理事は、会長に事故あるとき又は欠けたときは、次の会長が選任されるまでの間その職務を代行する。
- 5 会長職務を代行する業務執行理事は、可及的速やかに臨時理事会を開催し、新たな会長を選任する。
- 6 業務執行理事でない副会長は、理事会において別に定めるところにより会長を補佐する。

(監事の職務及び権限)

第16条 監事は、理事の職務執行及び理事会の決定を監査し、法令で定めるところにより、監査報告書を作成しなければならない。

- 2 監事は、いつでも、理事あるいは使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。
- 3 監事は、総会及び理事会に出席し、必要があるときには意見を述べなければならない。
- 4 監事は、理事が不正の行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくは定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告しなければならない。
- 5 監事は、前号の報告を行うために、会長に対し理事会の招集を請求することができ、会長は可及的速やかに理事会を招集しなければならない。
- 6 監事は、理事が総会に提出しようとする議案、書類を事前に精査し、重大な不正の認められるときは、これを総会に報告しなければならない。
- 7 監事は、監事に認められる法令上の権限を行使することができる。

(役員の任期)

第17条 本会の役員の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結のときまでとする。再任を妨げない。

- 2 補欠又として選任された役員の任期は、前任者又は現任者の残任期間とする。
- 3 役員は、その任期満了後、定款上の定数を下回る場合には、後任者が就任するまでは、なお、その職務を行う。

(役員の解任)

第18条 役員が次の各号の一に該当するときは、総会の議決により解任することができる。

- (1) 心身の故障のため職務の執行に耐えないと認められるとき。
- (2) 職務上の義務違反その他役員としてふさわしくない行為があると認められるとき。

(役員の報酬)

第19条 本会の役員は、無報酬とする。ただし、会務のために要した費用は、支弁する。

(理事の競業及び利益相反取引の制限)

第20条 理事が次の各号の一に該当する取引を行うときは、その取引について重要な事実を開示し、理事会の承認を得なければならない。

- (1) 自己又は第三者のためにする本会の事業の部類に属する取引
- (2) 自己又は第三者のためにする本会との事業
- (3) 本会がその理事の債務を保証すること
- (4) 本会とその理事との利益が相反する、他のものとの取引

2 理事会の承認を得て前項の取引をした理事は、その取引の重要な事実を遅滞なく理事会に報告しなければならない。

(損害賠償責任の免除)

第21条 本会は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第114条の規定により、任務を怠ったことによる理事又は監事の損害賠償責任を、法令の限度において理事会の議決によって免除することができる。

2 本会は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第115条第1項の規定により、外部理事又は外部監事との間に、任務を怠ったことによる損害賠償責任を限定する契約を締結することができる。ただし、当該契約に基づく責任の限度は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第113条第1項で定める最低責任限度額とする。

(職員)

第22条 本会の事務を処理するため事務局を設け、事務局長1名を含む所要の職員を置く。

- 2 事務局長その他の職員は、理事会が任免する。
- 3 職員は、有給とする。
- 4 事務局の組織、内部管理に必要な規則その他については、理事会が定める。

第5章 総会

(総会の構成)

第23条 総会は、本定款第6条第1号の正会員及び賛助会員をもって組織する。

2 前項の総会をもって、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第35条に規定する社員総会とする。

(総会の招集)

第24条 通常総会は、毎会計年度終了後3箇月以内に、理事会の議決に基づき、会長が招集する。

2 臨時総会は、理事会が必要と認めるとき、会長が招集する。また、正会員及び賛助会員現在数5分の1以上から会議の目的である事項を示した書面によって請求のあったときは、会長は、その請求があった日から20日以内に臨時総会を招集しなければならない。

3 総会を招集する場合には、理事会は次の事項を議決しなければならない。

- (1) 総会の日時及び場所
 - (2) 総会の目的である事項（当該事項が役員等の選任、事業の全部の譲渡、定款の変更、合併のいずれかであるときは、その議案の概要を含む）
 - (3) 総会に出席しない会員が書面で議決権を行使することができるときは、その旨、総会参考書類に記載すべき事項及び議決権行使の期限
 - (4) 代理人による議決権の代理行使について、委任状その他の代理権を証明する方法及び代理人の数その他代理人による議決権の行使に関する事項
- 4 総会の招集は、少なくとも14日以前に、前号に掲げる内容を記載した書面により、その通知をする。

(総会の議長)

第25条 通常総会の議長は、会長とし、臨時総会の議長は、会議のつど出席正会員の互選で定める。

(総会の議事録と議事録署名人)

第26条 総会の議事については、議事録を作成し、議長ならびに総会に出席している正会員から選出された議事録署名人がこれに署名し、又は記名押印の上、これを保存する。

(総会の議決事項)

第 27 条 総会は、次の事項及び一般社団法人及び一般財団法人に関する法律に規定する事項に限り議決する。

- (1) 会員の除名
- (2) 理事及び監事（以下「役員」という）の選任及び解任並びに理事の任期の短縮
- (3) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 113 条に規定する役員の一部免除
- (4) 定款の変更
- (5) 事業の全部又は一部の譲渡
- (6) 解散及び継続
- (7) 合併契約の承認
- (8) 第 45 条に規定する残余財産の帰属の決定
- (9) 役員が総会に提出し、又は提供した資料を調査する者の選任
- (10) 会員による招集の請求により招集された総会における、本会の業務及び財産の状況を調査する者の選任
- (11) 入会金及び会費
- (12) 事業報告並びに計算書類及び財産目録の承認

2 総会は、前項第 9 号又は 10 号に掲げる事項を議決する場合を除き、あらかじめ総会の目的として通知された事項以外の事項について議決することはできない。

（総会の定足数等）

第 28 条 総会は、正会員及び賛助会員の過半数の者が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。ただし、当該議事につき、あらかじめ書面をもって意思を表示した者又は評決の委任者は、出席とみなす。

2 総会の議事は、法令又はこの定款に別段の定めがある場合を除くほか、正会員及び賛助会員の過半数をもって決する。

第 6 章 理事会

（理事会の設置）

第 29 条 本会に、理事会を設置する。

2 理事会は、すべての理事で組織する。

（理事会の権限）

第 30 条 理事会は、次の事項を議決する。

- (1) 総会の招集に関する事項
- (2) 会長、副会長の選任及び解任
- (3) 重要な財産の処分及び譲り受け
- (4) 多額の借財
- (5) 業務執行理事の選定及び解職
- (6) 重要な使用人の選任及び解任
- (7) 従たる事務所その他の重要な組織の設置、変更、廃止
- (8) 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制の整備
- (9) 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 114 条第 1 項に規定する損害賠償責任の一部免除
- (10) その他本会の業務の執行に関する事項

（理事会の招集等）

第 31 条 理事会は、年 4 回以上会長が招集する。

2 理事会の議長は、会長とする。

3 臨時理事会は、次の各号の一に該当する場合に開催する。

- (1) 会長が必要と認めたとき
 - (2) 理事から会議の目的である事項を示した書面によって請求があったとき
 - (3) 前号の場合、請求のあった日から 5 日以内に臨時理事会の招集の通知が寄せられない場合に、その請求をした理事が招集したとき
 - (4) 第 16 条第 5 項の規定により、監事から会長に招集の請求があったとき、又は監事が招集したとき
- 4 理事会を招集するときは、会長は、理事会の日の 1 週間前

までに、各理事及び各監事に対し、理事会の目的である事項並びに日時及び場所、その他必要な事項を記載した文書により通知を発しなければならない。

（理事会の定足数等）

第 32 条 理事会は、理事現在数の過半数の者が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

2 理事会の議事は、この定款に別段の定めがある場合を除くほか、議決に加わることができる理事の過半数が出席し、その過半数をもって決する。

（会員への通知）

第 33 条 理事会の議事の要領及び議決した事項は、会員に通知する。

（議決の省略）

第 34 条 会長が理事会の議決の目的である事項について提案した場合において、理事の全員が提案された議案につき、書面により同意の意思表示をしたときは、その議案を可決する理事会の議決があったものとする。ただし、監事がその提案に異議を述べたときはこの限りでない。

（議事録）

第 35 条 理事会の議事については、議事録を作成し、会長ならびに出席の監事はこれに署名し、又は記名押印の上、これを保存する。

第 7 章 資産及び会計

（公益目的取得財産残額の処分）

第 36 条 公益認定の取り消し処分を受けた場合において、公益法人認定法第 30 条第 2 項に規定する公益目的取得財産残額があるときは、その取り消しの日から 1 箇月以内に類似の事業を目的とする他の公益社団法人又は公益財団法人に贈与しなければならない。

2 本会が合併により消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益社団法人又は公益財団法人であるときを除く。）において、公益法人認定法第 30 条第 2 項に規定する公益目的取得財産残額があるときは、その取り消しの日から 1 箇月以内に類似の事業を目的とする他の公益社団法人又は公益財団法人に贈与しなければならない。

（剰余金の処分制限）

第 37 条 本会は、会員その他の者に対し、剰余金の分配をすることはできない。

2 会員に剰余金を分配する総会の議決は無効とする。

（事業計画及び収支予算）

第 38 条 本会の事業計画及びこれに伴う収支予算は、会長が編成し、理事会の議決を経て、毎会計年度開始前に行政庁に届け出なければならない。事業計画及び収支予算を変更しようとする場合も同様とする。

（収支決算）

第 39 条 本会の収支決算は、会長が作成し、財産目録、貸借対照表、事業報告書及び財産増減事由書並びに会員の異動状況書とともに、監事の意見を付け、総会、理事会の承認を受けて、毎会計年度終了後 3 箇月以内に行政庁に報告しなければならない。

2 本会の収支決算に剰余金があるときは、総会、理事会の議決を経て、翌年度に繰り越すものとする。

（長期借入金）

第 40 条 本会が資金の借入れをしようとするときは、その会

計年度の収支をもって償還する短期借入金を除き、総会、理事会の議決を経、かつ、行政庁の承認を受けなければならない。

(新たな義務負担等)

第 41 条 ただし書き及び前条の規定に該当する場合並びに収支予算で定めるものを除くほか、本会が新たな義務の負担又は権利の放棄のうち重要なものを行おうとするときは、総会、理事会の議決を経なければならない。

(会計年度)

第 42 条 本会の会計年度は、毎年 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終る。

第 8 章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第 43 条 この定款は、総会の議決を経て、変更することができる。

(解 散)

第 44 条 本会の解散は、総会の議決その他法令で定められた事由により解散する。

(残余財産の処分)

第 45 条 本会の解散に伴う残余財産は、総会の議決を経て、国、地方公共団体又は他の租税特別措置法第 40 条第 1 項に規定する公益法人等に贈与するものとする。

第 9 章 情報開示

(書類及び帳簿の備付及び閲覧)

第 46 条 本会の主たる事務所に、次の書類及び帳簿を備えなければならない。ただし、他の法令により、これらに代る書類及び帳簿を備えたときは、この限りではない。

- (1) 定款
- (2) 会員の名簿
- (3) 総会で議決権代理行使をした場合の委任状
- (4) 総会で書面による議決権の行使をした場合の議決権行使書
- (5) 総会で議決の省略をした場合の同意書
- (6) 理事会で議決の省略をした場合の同意書
- (7) 役員及びその他の職員の名簿及び履歴書
- (8) 財産目録
- (9) 資産台帳及び負債台帳
- (10) 収入、支出に関する帳簿及び証拠書類
- (11) 総会、理事会の議事に関する事項
- (12) 処務日記
- (13) 官公署往復書簡
- (14) その他必要な書類及び帳簿

2. 前項第 10 号の帳簿及び書類は 10 年以上、同項第 11 号の書類は永年、同項第 12 号から第 14 号までの書類及び帳簿は 1 年以上保存しなければならない。

3 前項第 1 号、第 11 号に掲げる書類は支部にも備え置くものとする。

4 帳簿及び書類等の備え置き期間並びに閲覧については、理事会の承認を受けた情報公開規定に定めるものとする。

(公告)

第 47 条 本会の公告方法として、電子公告を行う。

2 特別の事由により前項の電子公告ができない場合は、官報に掲載して行う。

(委任)

第 48 条 この定款に定めるもののほか、この定款の施行について必要な事項は総会、理事会の議決を経て、会長が定める。

附則

1. この定款の変更は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成 18 年法律第 50 号）第 106 条第 1 項に規定する登記をすることを停止条件として成立するものとし、当該登記をした日から施行する。

2. 旧社団法人日本設計工学会定款(昭和 53 年 4 月 1 日制定、昭和 54 年 1 月 19 日文部大臣認可)に基づいて設置されていた理事会はこれを廃止する。

3. 認定を受けた後の最初の会長、副会長並びに監事は以下のとおり。

会長 勝田正文

副会長 金田 徹、下田博一、平野重雄

監事 笹島和幸、下坂陽男

附則

1. 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（平成 18 年法律第 50 号）第 106 条第 1 項に定める特例民法法人の解散登記と公益法人の設立の登記を行ったときは、第 41 条の規定にかかわらず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。（平成 23 年 5 月 27 日）

附則

1. この定款は令和 3 年度総会（令和 3 年 5 月 21 日）にて変更承認し、即日施行する。

附則

1. この定款は令和 4 年度総会（令和 4 年 5 月 21 日）にて変更承認し、即日施行する。

附則

1. この定款は令和 7 年度総会（令和 7 年 5 月 24 日）にて変更承認し、即日施行する。

2025 年 3 月吉日

会 員 各 位

公益社団法人 日本設計工学会
選 挙 管 理 委 員 会
委員長 宮 川 豊 美

2025・2026年度 理事・監事の選出について

公益社団法人日本設計工学会定款および細則により、標記の理事・監事の選挙を行います。尚、本選挙は、定款改訂「役員増員：理事 30 名以内(含む外部理事)、監事 3 名以内(含む外部監事)」を前提として実施するものです。定款改訂案が総会において承認された場合、本選挙の結果に基づき、新役員が正式に就任いたします。万が一、定款改訂案が承認されなかった場合、本選挙の結果は無効となり、別途対応を決定いたしますので、あらかじめご了承ください。

つきましては、下記事項をご覧ください(2025 年 4 月 25 日)までに投票して下さい。

記

1. 選出人数 理事:28 名 監事:3 名 本部・各支部所属の正会員が選挙する。
2. 投票用紙 この用紙を使用し(これ以外は無効)、何も書かずに同封の返信用封筒に入れて期日内に投函して下さい。
3. 投票締切 2025 年 4 月 25 日 消印まで有効。
4. 候補者 理事・監事については理事会の推薦候補者です。
5. 投票方法 この候補者以外に投票したい場合は、会員番号及び氏名を下部の余白に記入し、その数だけ候補者を消し選出人数に合わせて下さい。

切り取り線

投 票 用 紙

理事候補者(本部) (順不同)

- | | | |
|-------------|--------|--------|
| 1. 1994128 | 岩附 信行 | 東京科学大学 |
| 2. 2007063 | 太田 祐介 | 千葉工業大学 |
| 3. 2007032 | 落合 成行 | 東海大学 |
| 4. 2008070 | 楓 和憲 | 埼玉大学 |
| 5. 2012101 | 加藤 恵輔 | 明治大学 |
| 6. 2005044 | 加藤 健郎 | 慶應義塾大学 |
| 7. 2003018 | 菊池 耕生 | 千葉工業大学 |
| 8. 2006088 | 佐藤 浩一郎 | 千葉大学 |
| 9. 2013135 | 鈴木 伸哉 | 関東学院大学 |
| 10. 2015132 | 館野 寿丈 | 明治大学 |
| 11. 1996006 | 原 精一郎 | 東京科学大学 |
| 12. 2014158 | 宮川 豊美 | 日本工業大学 |
| 13. 2002018 | 宮下 朋之 | 早稲田大学 |
| 14. 2010067 | 宮永 宜典 | 関東学院大学 |
| 15. 2018126 | 三浦 智 | 東京科学大学 |
| 16. 1989025 | 村上 存 | 東京大学 |
| 17. 2005046 | 山崎 芳昭 | 明星大学 |
| 18. 2011115 | 吉田 洋明 | 日本大学 |
| 19. 1991095 | 綿貫 啓一 | 埼玉大学 |
| 20. (外部理事) | 平栗 健二 | 東京電機大学 |

理事候補者(支部)

- | | | |
|-------------|-------|-------------|
| 21. 1995029 | 風間 俊治 | 室蘭工業大学 |
| 22. 1997037 | 大町 竜哉 | 山形大学 |
| 23. 2004052 | 中島 公平 | 名城大学 |
| 24. 2007045 | 本田 智巳 | 福井大学 |
| 25. 1989074 | 澤井 猛 | 大阪産業大学 |
| 26. 2003028 | 関口 泰久 | 近畿大学 |
| 27. 2018157 | 上代 良文 | 香川高等専門学校 |
| 28. 2009047 | 石丸 良平 | 久留米工業高等専門学校 |

監事候補者

- | | | |
|------------|-------|--------|
| 1. 2001002 | 松岡 由幸 | 慶應義塾大学 |
| 2. 2000001 | 小林 健一 | 明治大学 |
| 3. (外部監事) | 中山 良一 | 元工学院大学 |

2025 年度事業計画書

公益社団法人 日本設計工学会

1. 「通常総会」, 「理事会」, 「支部総会」, 「各部会」の開催と運営
2. 会誌「設計工学」第 60 巻4号から第61 巻 3 号の発行
3. 2025 年度通常総会
日本大学理工学部 船橋キャンパス 5月24日(土)16:10~17:10
4. 2025 年度春季大会研究発表講演会
日本大学理工学部 船橋キャンパス 5月24日(土), 25日(日)
5. 設計フォーラムの開催(研究発表講演会の中で開催予定)
6. 設計オープンセミナー
年間2回の開催予定
7. 第6回設計工学に関する国際会議
エジプトアレクサンドリア図書館, エジプト日本科学技術大学 8月19日(火)~22日(金)
8. 2025 年度秋季大会研究発表講演会
出島メッセ長崎 11 月7日(金), 8日(土)
9. 講習会・見学会
 - ・設計フォーラム 5月
 - ・設計コンテスト 5月~12 月
 - ・「不確かさ」に対して頑強な設計の知恵 6月
 - ・感動と創造 ~心を動かすモノ・コトづくり 6月
 - ・「形状設計ノウハウ」講習会 7月
 - ・新価値創造をもたらす デザインと設計の間 7月
 - ・幾何公差ワークショップ 8月, 2月
 - ・Design for AM 講習会 9月
 - ・タイムアクシスデザイン講習会 11 月
 - ・製品開発のためのデータサイエンス 12月
 - ・デザイン科学セミナー 1 月
 - ・セットベース設計講習会 2月
10. 2025 年度支部総会

北海道支部 2026年3月	東北支部 2025年4月
東海支部 2025年5月	北陸支部 2025年6月
関西支部 2025年4月	中国支部 2025年6月
四国支部 2026年3月	九州支部 2025年5月

2025年度収支予算書

2025年4月1日～2026年3月31日

公益社団法人 日本設計工学会

単位:円

	25	24		
科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	8,600,000	6,300,000	2,300,000	
会費・入会金収入	8,777,400	9,217,000	-439,600	
研究調査事業	20,000	0	20,000	
集会事業	5,664,500	5,946,500	-282,000	
出版事業	4,340,000	4,340,000	0	
表彰・周年事業	7,000,000		7,000,000	国際会議
雑収入	870,400	265,030	605,370	
経常収益計	35,272,300	26,068,530	9,203,770	
(2) 経常費用				
事業費				
研究調査事業	603,000	775,000	-172,000	
集会事業	5,240,000	5,586,177	-346,177	
出版事業	5,780,000	6,090,000	-310,000	
表彰事業	1,300,000	650,000	650,000	
周年事業	7,000,000		7,000,000	
事業費計	19,923,000	13,101,177	6,821,823	
管理費				
給与等	2,728,000	2,608,000	120,000	
会議費	464,000	469,000	-5,000	
旅費交通費	1,055,000	1,025,000	30,000	
通信運搬費	895,000	830,000	65,000	
消耗品費	250,000	355,400	-105,400	
印刷製本費	110,000	130,000	-20,000	
賃借料	2,568,700	2,618,700	-50,000	
雑費	1,763,500	973,208	790,292	
光熱費	115,000	120,000	-5,000	
修繕費・その他	55,000	55,000	0	
福利厚生費	120,000	120,000	0	
管理費計	10,124,200	9,304,308	819,892	
予備費	175,000	0	175,000	
			0	
予備費計	175,000	0	175,000	
経常費用計	30,222,200	22,405,485	7,816,715	
評価損益等調整前当期経常増減	0	0	0	
評価損益等	0	0	0	
当期経常増減額	5,050,100	3,663,045	1,387,055	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益			0	
(2) 経常外費用				
経常外費用	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	5,050,100	3,663,045	1,387,055	
一般正味財産期首残高	14,961,456	12,370,454	2,591,002	
一般正味財産期末残高	20,011,556	14,961,456	5,050,100	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	341,825,062	335,825,062	6,000,000	
指定正味財産期末残高	342,825,062	341,825,062	1,000,000	
III 正味財産期末残高	362,836,618	356,786,518	6,050,100	

2025年度収支予算書内訳表
2025年4月1日～2026年3月31日

公益社団法人 日本設計工学会
I 一般正味財産増減の部

1. 収入の部

単位:円

科 目	公益事業							法人会計	合計
	公益1			公益2	公益3	共通	小計		
	研究調査	集会事業	支部事業	出版事業	表彰・周年				
1. 特定資産運用益	0	0	0	0	1,400,000	2,100,000	3,500,000	5,100,000	8,600,000
2. 会費・入会金収入	0	0	1,442,000	2,060,000	0	1,378,000	4,880,000	3,438,000	8,318,000
3. 支部賛助会費収入	0	0	459,400	0	0	0	459,400	0	459,400
4. 研究調査事業	20,000	0	0	0	0	0	20,000	0	20,000
5. 集会事業	0	4,784,500	880,000	0	0	0	5,664,500	0	5,664,500
6. 出版事業	0	0	0	4,340,000	0	0	4,340,000	0	4,340,000
7. 周年事業	0	7,000,000	0	0	0	0	7,000,000	0	7,000,000
8. 雑収入	0	0	570,400	0	0	0	570,400	300,000	870,400
当期収入小計	20,000	11,784,500	3,351,800	6,400,000	1,400,000	3,478,000	26,434,300	8,838,000	35,272,300
当期収入合計		15,156,300		6,400,000	1,400,000	3,478,000	26,434,300	8,838,000	35,272,300

*国際会議

*秋季大会(九州)含む

2. 支出の部

科 目	公益事業							法人会計	合計
	公益1			公益2	公益3	共通	小計		
	研究調査	集会事業	支部事業	出版事業	表彰・周年				
1. 事業費									
1.1 研究調査事業	293,000	310,000					603,000		603,000
1.2 集会事業	0	2,936,000	2,304,000	0	0	0	5,240,000	0	5,240,000
1.3 出版事業	0	0		5,780,000	0	0	5,780,000	0	5,780,000
1.4 表彰事業	0	0	0	0	1,300,000	0	1,300,000	0	1,300,000
1.5 周年事業	0	7,000,000	0	0	0	0	7,000,000	0	7,000,000
事業費小計	293,000	9,936,000	2,614,000	5,780,000	1,300,000	0	19,923,000	0	19,923,000
事業費合計	12,843,000			5,780,000	1,300,000	0	19,923,000	0	19,923,000
2. 管理費									
2.1 給与等	0	0	158,000	0	0	1,800,000	1,958,000	770,000	2,728,000
2.2 会議費	0	69,000	225,000	90,000	0	32,000	416,000	48,000	464,000
2.3 旅費交通費	0	0	605,000	0	0	180,000	785,000	270,000	1,055,000
2.4 通信運搬費	0	0	115,000	20,000	0	300,000	435,000	460,000	895,000
2.5 消耗品費	0	0	50,000	0	50,000	0	100,000	150,000	250,000
2.6 印刷製本費	0	0	10,000	0	0	0	10,000	100,000	110,000
2.7 賃借料	0	0	68,700	0	0	1,250,000	1,318,700	1,250,000	2,568,700
2.8 雑費	75,000	8,000	660,500	340,000	50,000	0	1,133,500	630,000	1,763,500
2.9 光熱費	0	0	0	0	0	0	0	115,000	115,000
2.10 修繕費・他	0	0	0	0	0	0	0	55,000	55,000
2.11 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	120,000	120,000
管理費小計	75,000	77,000	1,892,200	450,000	100,000	3,562,000	6,156,200	3,968,000	10,124,200
管理費合計	2,044,200			450,000	100,000	3,047,000	6,156,200	3,968,000	10,124,200
3. 予備費	0	0	0	0	0	0	0	175,000	175,000
当期支出小計	368,000	9,936,000	4,506,200	6,230,000	1,400,000	3,562,000	26,079,200	4,143,000	30,222,200
当期支出合計	14,810,200			6,230,000	1,400,000	3,562,000	26,079,200	4,143,000	30,222,200

*国際会議

*秋季大会(九州)含む

4. 収支差額

当期収支差額小計	-348,000	1,848,500	-1,154,400	170,000	0	-84,000	355,100	4,695,000	5,050,100
当期収支差額合計	346,100			170,000	0	-84,000	355,100	4,695,000	5,050,100

注記

□資金の範囲:現金預金及び定期預金

□特定資産運用益8,600,000円は公益事業と法人事業で按分(≒40:60)し、公益事業は表彰事業と共通で按分している。(40:60)

□会費・入会金収入合計8,318,000円は支部交付金1,442,000円を引いた金額を公益事業と法人事業として1/2とし、公益事業は出版事業と共通費に分けている。(≒60:40)

□給与等合計2,728,000円は支部給与等158,000円を引いた金額を公益事業と法人事業で割合按分している。(≒70:30)

